

土づくり

広報



＜旅のメンバー＞

クライアントT君 & T君のお母様
ホームケア土屋鳥取：池田憲治
ホームケア土屋鳥取：吉田秀一
「MATAたび」： 櫻井純

そして、その旅を通して、誰もが共に暮らせる社会を作っていくこと。目指しているのは、SDGsの11.「住み続けられるまちづくりを」。

今回は、土屋のクライアント、T君の夢を叶えるお話です。

2021年秋、鳥取のオフィスマネージャー池田憲治より、「コロナ禍で修学旅行が中止になって、とてもがっかりしている全介助のクライアントがいます。無理のない範囲で外出を希望されているのですが…」と「MATAたび」チームに連絡が。クライアントは十八歳の高校生、T君。検討の結果、

■ 始まり

「MATAたび」第一弾のゲストは、鳥取の高校生クライアントT君。コロナ禍で楽しみにしていた修学旅行が中止となり、代わって「MATAたび」が、T君の憧れ「高級スポーツカー乗車」の夢を実現すべく、企画に乗り出しました。



MATAたび 土屋・SDGsチームの旅企画 第一弾を実施！ Part 1

新型コロナウイルス感染者も減少し、落ち着きを取り戻す冬頃を見計らい、第一弾として今回の企画が決定しました。

■ 「MATAたび」の想い

「MATAたび」のモットーは、誰もが夢を実現できること。近くても遠くても、クライアントの想いに沿った旅のお手伝いをできればと立ち上がりまし

■ クライアントの夢の実現へ

T君の希望は「憧れのスポーツカー、GT-Rを見て、焼肉を食べること」。このGT-Rは日産の高級スポーツカーで、その中でも評価の高いR34 GT-R V-Spec II。

お値段、なんと三千万円！

その後、「レクサス LC500のスポーツカーも見学したい」と追加の希望も。実は、T君への土屋の支援は始まったばかり。まだ関係性もぎこちないT君からの「わがまま」がとても嬉しかったと、支援に入る池田さんは語ります。旅の計画を通じて、徐々に心を通わせ合いながら、旅の企画が大き動き始めました。

■ 交渉から現地へ

旅の概要が固まったところで、「MATAたび」キャプテンの櫻井純がGT-Rの所有者、有田会社「林オート」の林社長との交渉に乗り出します。というのも、このGT-R、普段は車庫に厳重に保管されており、めったに見ることはできません。しかも、旅の予定日は店の休業日。けれど、林社長のご好意で、「晴れたら車を出しま



しょう」と快諾していただけました。いよいよ「MATAたび」第一弾が始動します！

■ クライアントとGT-R

2021年12月12日。

当日、肝心な天気は曇り空。T君宅に集まった土屋スタッフの池田憲治と吉田秀一、そして大阪よりは櫻井純。もし雨が降ってきたら…と、そろそろする3人ですが、徐々に日差しが！T君の強い想いが届いたのかもしれない。そして、T君とスタッフ3人は、お母様が運転する車で「林オート」へ向かいます。到着すると…入口にはT君憧れのGT-Rが！

